



2015年6月号  
八千代特別支援学校

雨で肌寒い日がある一方、夏のように暑くなる日もあります。半袖の上に上着を重ねて着るなど、衣服で調節できる工夫をすると快適に過ごせますね。

さて、5月からお騒がせしている水ぼうそう。この機会に水ぼうそうについて知っておきましょう。

### 1 どんな病気？

正式な名前は水痘<sup>すいとう</sup>です。発疹<sup>はっしん</sup>のでる病気です。体幹部を中心に、顔面や頭部から生じやすく、体中に広がっていきます。赤い発疹→みずぶくれ→かさぶたとなって治ります。ピークの時にはこれらの発疹が混在しています。38度～39度に発熱することがありますが、微熱程度のこともあります。まれに脳炎などの合併症がみられることがあります。

### 2 どうやってうつるの？

水痘<sup>すいとう</sup>帯状疱疹<sup>たいじょうほうしん</sup>ウイルスによる空気感染・飛沫感染・接触感染によってうつります。潜伏期間は10日～21日程度です。発疹<sup>はっしん</sup>のでる1～2日前から他の人にうつります。感染力の強い病気です。

### 3 予防

水ぼうそうの予防には水痘ワクチンがあります。平成26年10月から、3歳の誕生日前までのお子さんの定期接種となり、2回接種を行っています。残念ながら本校の児童生徒は対象年齢ではありませんが、任意接種として受けることができます。

1回の接種によって重症の水ぼうそうを100%予防でき、2回の接種によって軽症も含めた水ぼうそうの発症を予防できると考えられています。1回7000円～1万円位です。水ぼうそうにかかったことのない人で、接種をしていない人は、かかりつけの医療機関で相談してみたいかがでしょうか。

### 4 かかってしまったら

全ての発疹<sup>はっしん</sup>がかさぶたになるまで出席停止となります。  
学級担任までお知らせください。



### 5 带状疱疹<sup>たいじょうほうしん</sup>って何？

水ぼうそうにかかった後、ウイルスは体内の「神経節」という所に隠れています。加齢、疲労、ストレスなどにより免疫力が低下すると、隠れていたウイルスが暴れ出し、皮膚のブツブツと水ぶくれ、痛みが現れます。これが带状疱疹<sup>たいじょうほうしん</sup>です。水ぼうそうのウイルスが原因なので、水ぼうそうの免疫のない人に接すると感染し、水ぼうそうを発症してしまいます。带状疱疹<sup>たいじょうほうしん</sup>にかかったら、注意が必要です。



#### 6月の保健行事

2日(火) 眼科検診(児童生徒)

11日(木) 歯科検診

(小1～5・中1、2)